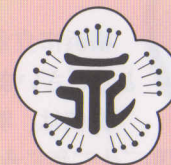


# 校章と校歌

## ■校章について

学校のすぐ近くにある永谷天満宮は、昔原道真<sup>すがわらみちざね</sup>をお祀り<sup>まつ</sup>しています。昔原道真は梅をこよなく愛したそうです。そんなことから天満宮の紋章は、梅の花をデザインした梅鉢紋<sup>うめぼちもん</sup>です。梅鉢紋というのは、五つの丸を花卉のように並べ中心に小さな丸を一つおいた紋のことです。

昭和46年、昔から本校にゆかりのある永谷天満宮の梅鉢紋を、そのまま校章として採用しました。今も通学帽には校章がついています。



## ■校歌について

昭和27年、創立60周年を記念して校歌作成を呼びかけ募集しました。応募作品の中より横浜国立大学教授・吉原敏雄氏に校閲をお願いし、最終的にそのときの校長・齋藤止女男氏が作詩しました。当時のPTA会員であり二谷小学校副校長・土屋八郎氏が曲をつけて作られました。

しかし、校歌の歌詞が子どもたちにとってわかりにくいところがあるので、もっと子どもに親しみやすくわかりやすいものにし

たいという声が高まりました。そこで、昭和45年5月に蕪木直行氏に作詞を、松井健祐氏に作曲を依頼し、美しい自然と伝統を受け継いだ永野小学校とそこに学ぶ子どもが健やかに育つことを祈る、口ずさみやすい「永野小学校子どもの歌」を制定しました。現在、この「永野小学校子どもの歌」が、校歌として歌い継がれています。

実は、永野小学校の校歌は、2つあるのです。

## 永野小学校 校歌

蕪木 直行 作詞  
松井 健祐 作曲

一 大空は 光豊かに  
目にしみる 木々のみどり葉  
学舎に かく受け継ぐ  
遠き世の 永野の誇り  
心あらたに 今日学ぼう  
力尽くして 力尽くして

二 花々は 校庭に溢れて  
風吹けば 明るく匂う  
友情は 絶えるときなく  
睦みあう 永野の誇り  
ともに手を取り 今日進もう  
力あわせて 力あわせて

三 飛ぶ鳥の 羽のたしかさ  
さわやかに 空行く姿  
たくましく からだ鍛えて  
明日を呼ぶ 永野の誇り  
声高らかに 今日歌おう  
望み果てなく 望み果てなく

## 初代永野小学校 校歌

齋藤止女男 作詞  
土屋 八郎 作曲

一 港都の南 春されば  
梅いちはやく 香にたちて  
古賢の教 あたらしく  
今日の心を 照らすべし  
誠ぞ神の 道ならん

二 丘は太古の 丘にして  
川は昔の 馬洗  
ああ悠久の 天地に  
みのりし父祖の 伝統は  
広野の土に 継がんな

三 弥生の空に 咲きにおう  
桜は明日を 彩らん  
文化日本の 象徴にて  
生命かがやく あさぼらけ  
わが学び舎に 光あれ

# 永野小学校 校歌

蕪木 直行 作詞  
松井 健祐 作曲

一 大空は 光豊かに

目にしみる 木々のみどり葉

学舎に かたく受け継ぐ

遠き世の 永野の誇り

心あらたに 今日学ぼう

力尽くして 力尽くして

二

花々は 校庭に溢れて

風吹けば 明るく匂う

友情は 絶えるときなく

睦みあう 永野の誇り

ともに手を取り 今日進もう

力あわせて 力あわせて

三

飛ぶ鳥の 羽のたしかさ

さわやかに 空行く姿

たくましく からだ鍛えて

明日を呼ぶ 永野の誇り

声高らかに 今日歌おう

望み果てなく 望み果てなく

